

■ Yahooからの流入キーワード

順位	キーワード	セッション		平均ページビュー		直帰率		検索順位	月間検索数
		2013年	2012年	2013年	2012年	2013年	2012年		
1	icrweb	730	67	10.61	35.04	26.85%	11.94%	1	210
2	icr	430	8	16.06	61.25	10.00%	12.50%	3	18,100
3	icr臨床研究入門	196	10	16.65	70.80	12.24%	10.00%	1	46
4	icr web	105	1	16.11	4.00	16.19%	0%	1	110
5	icr 臨床研究入門	80	-	7.88	-	85.00%	-	1	46
6	臨床研究	68	-	9.09	-	38.24%	-	2	49,500
7	icr-web	63	-	9.3	-	53.97%	-	1	110
8	山本精一郎icr臨床研究入門eラーニング	41	-	10.27	-	7.32%	-	1	-
9	icrweb.jp	28	-	10.32	-	14.29%	-	1	-
10	icr臨床研究	28	-	15.96	-	17.86%	-	1	-
11	臨床研究入門講座 修了書	26	-	6.77	-	0.00%	-	1	-
12	e-ラーニング 臨床	18	-	9.44	-	0.00%	-	1	-
13	国立がんセンター icr	17	-	6.35	-	17.65%	-	1	-
14	臨床研究とは	17	-	8.24	-	35.29%	-	8	170
15	e-learning 倫理講習会	15	-	3.4	-	60.00%	-	4	-
16	icr 臨床研究入門 山本精一郎	15	-	11.13	-	6.67%	-	1	-
17	icr 臨床試験 eラーニング	15	-	17.27	-	6.67%	-	1	-
18	icr臨床	15	-	16	-	0.00%	-	1	-
19	臨床研究 e-learning	15	-	12.13	-	13.33%	-	1	-
20	臨床研究学習	15	-	23.47	-	0.00%	-	6	-
21	icr 臨床研究	13	1	20.54	16.00	0.00%	0%	1	-
22	irc ウェブ 臨床試験	13	-	5.23	-	30.77%	-	1	-
23	厚生労働省 icr	13	-	11.23	-	7.69%	-	-	-
24	eラーニング 臨床研究入門	12	1	23.17	6.00	0.00%	0%	1	-
25	臨床研究の基礎知識講座	9	-	18.33	-	11.11%	-	1	-
26	eラーニング 臨床研究	8	-	7	-	0.00%	-	1	-
27	http://www.icrweb.jp/	8	-	15.62	-	25.00%	-	1	-
28	http://www.icrweb.jp/course/list.php	7	-	11	-	14.29%	-	1	-
29	icr eラーニング	7	1	12.57	247.00	28.57%	0%	1	-
30	icr 臨床	7	-	8.14	-	14.29%	-	1	-

【傾向】

- ・「icr」が絡むキーワードが30位中17ワード
- ・上位3位のキーワードの平均ページビューは2012年と比較し、1/3~1/4に減少
- ・キーワード「icrweb」の直帰率は2012年と比較し、2倍以上増加

【考察】

上位3位のキーワードの平均ページビューが大きく減少しているが、これは前年の臨床研究入門初級編がスライド1ページ毎にページビューをカウントしていたため。

前回調査(2010年3月)で、月間検索数が多く有望なキーワード「icr」の検索順位が54位だったのに対し、今回は3位まで上昇しサイトのセッション数に大きく貢献している。また、前回圏外だった「臨床研究」は今回は2位となっており、月間検索数の多さからも、新規ユーザーを呼び込むキーワードとして重要な役割を果たしていると思われる。

15位の「e-learning 倫理講習会」は、平均ページビューが3.4、直帰率が60%となっていることから、臨床研究とは別の倫理講習会を探して辿り着いたものと思われる。

20位の「臨床研究学習」(検索順位6位)で流入するユーザーは、明らかにサイトのターゲットユーザーであり、セッション数は少ないものの、平均ページビューが多く、直帰率も低いいため、新規ユーザーを呼び込むことができる有望なキーワードとして今後期待ができる。

Googleからの流入キーワード

順位	キーワード	セッション		平均ページビュー		直帰率		検索順位	月間検索数
		2013年	2012年	2013年	2012年	2013年	2012年		
1	icrweb	290	45	12.2	27.27	23.79%	6.67%	1	210
2	icr	199	2	15.5	6.50	23.12%	0%	3	18,100
3	icr web	142	19	12.99	60.95	24.65%	10.53%	1	110
4	jcog eラーニング	125	-	1.16	-	96.80%	-	1	-
5	icr臨床研究入門	115	4	11.34	28.50	19.13%	0%	1	46
6	臨床研究	64	-	7.16	-	40.62%	-	2	49,500
7	icrweb臨床研究入門	50	-	9	-	8.00%	-	1	-
8	ich m3 ガイドライン	44	7	2.07	14.86	81.82%	42.86%	-	36
9	臨床試験 e-ラーニング	37	-	9.57	-	8.11%	-	2	-
10	メタアナリシス入門	35	4	1.2	4.00	97.14%	25.00%	-	46
11	臨床研究 e-learning	29	1	10.28	2.00	0.00%	0%	1	-
12	icr 臨床研究	27	-	15.37	-	33.33%	-	1	-
13	http://www.icrweb.jp	20	-	12.75	-	15.00%	-	1	-
14	http://www.icrweb.jp/index.php?	16	-	10.44	-	6.25%	-	1	-
15	メタアナリシス 方法	15	15	11.8	6.93	0.00%	20.00%	-	110
16	http://www.icrweb.jp/	14	-	29.57	-	0.00%	-	1	-
17	icr臨床	13	-	55.54	-	7.69%	-	1	-
18	臨床研究入門	13	8	12.15	34.00	15.38%	12.50%	1	-
19	臨床試験 e-learning	13	-	10.85	-	7.69%	-	2	-
20	icr-web	12	3	15.08	13.00	41.67%	0%	1	110
21	icr臨床研究入門 初級編 eラーニング	12	-	20.58	-	16.67%	-	1	-
22	icrweb.jp	11	-	14.45	-	9.09%	-	1	-
23	icr臨床研究	11	7	11.09	96.71	0.00%	0%	1	-
24	臨床研究入門 eラーニング	11	2	24.55	8.50	0.00%	0%	1	-
25	http://www.icrweb.j	10	-	18.3	-	0.00%	-	1	-
26	icr 臨床	10	-	31.2	-	0.00%	-	1	-
27	cache:yjr6c2frigj:www.icrweb.jp/icr/modules/bulletin/ 荒戸 照世	9	-	7.56	-	0.00%	-	-	-
28	http://www.icrweb.jp/login/forget_password.php?p=swsez8nlp7gmo2&s=dekinico	9	-	10.67	-	0.00%	-	-	-
29	ohrp	9	30	5	5.03	33.33%	33.33%	-	91
30	いcrうえb	9	-	6.78	-	0.00%	-	1	-

【傾向】

- ・「icr」が絡むキーワードが30位中12ワード
- ・上位3位のキーワードの平均ページビューは2012年と比較し、1/2~1/5に減少
- ・キーワード「icrweb」の直帰率は2012年と比較し、4倍近く増加

【考察】

上位1、3位のキーワードの平均ページビューが大きく減少しているが、これは「Yahooからの流入キーワード」のでも説明したとおり、前年の臨床研究入門初級編がスライド1ページ毎にページビューをカウントしていたため。

Googleからの流入キーワードの種類は、Yahooと若干異なり「icr」等のブランドキーワードだけではなく、「メタアナリシス入門」や「ohrp」等、コンテンツに関連するキーワードが多くなっているのが特徴的。テーマを持ったページを増やしていくことにより、このようなニッチなキーワードでの流入が更に増えていくものと思われる。キーワードの検索順位については、YahooがGoogleの検索エンジンを採用しているため、同じキーワードであればほぼ同じである。

4位の「jcog eラーニング」は、平均ページビューが1.16、直帰率が96.8%となっていることから、JCOG本家サイトでのeラーニングを探して辿り着いたものと思われる。また8位の「ich m3 ガイドライン」、10位「メタアナリシス入門」も同様の理由から、別のサイトを探していたか、サイト内でページを探しきれなかったことが考えられる。

■ 新規ユーザーの利用キーワード

順位	キーワード	セッション		直帰率	
		2013年	2012年	2013年	2012年
1	icrweb	191	24	11.52%	4.17%
2	icr	153	12	19.61%	16.67%
3	icr web	93	4	12.90%	0%
4	臨床研究	90	3	48.89%	33.33%
5	icr臨床研究入門	80	5	16.25%	0%
6	icr 臨床研究	22	2	18.18%	0%
7	icr臨床研究	17	-	0.00%	-
8	臨床研究とは	15	-	46.67%	-
9	がん 最低限の知識	13	-	84.62%	-
10	icr-web	10	1	20.00%	0%
11	icr 臨床研究入門	8	-	12.50%	-
12	http://www.icrweb.jp/	7	-	0.00%	-
13	icr臨床	7	-	0.00%	-
14	icr eラーニング	6	-	33.33%	-
15	icr臨床研究入門 初級編 eラーニング	6	-	0.00%	-
16	臨床研究 e-learning	6	1	0.00%	0%
17	臨床研究入門	6	1	0.00%	0%
18	http://www.icrweb.jp	5	-	20.00%	-
19	icr 臨床	5	-	0.00%	-
20	jcog	5	-	20.00%	-

■ リピートユーザーの利用キーワード

順位	キーワード	セッション		直帰率	
		2013年	2012年	2013年	2012年
1	icrweb	1,002	176	27.05%	11.93%
2	icr	631	62	12.20%	9.68%
3	icr臨床研究入門	270	11	13.70%	9.09%
4	icr web	171	26	25.15%	7.69%
5	jcog eラーニング	125	-	96.80%	-
6	icr 臨床研究入門	78	-	87.18%	-
7	臨床研究入門初級編	76	1	14.47%	100%
8	icr-web	65	5	56.92%	20.00%
9	icr臨床研究	55	7	12.73%	0%
10	icrweb臨床研究入門	50	-	8.00%	-
11	ich m3 ガイドライン	45	4	80.00%	25.00%
12	臨床研究	45	2	17.78%	0%
13	山本精一郎icr臨床研究入門eラーニング	41	-	7.32%	-
14	臨床研究 e-learning	39	-	5.13%	-
15	icrweb.jp	37	-	13.51%	-
16	臨床試験 e-ラーニング	37	-	8.11%	-
17	メタアナリシス入門	35	-	97.14%	-
18	臨床研究入門講座 修了書	26	-	0.00%	-
19	icr臨床	22	-	4.55%	-
20	icr 臨床研究	20	-	25.00%	-

【傾向】

- ・上位2位のキーワードは、新規ユーザー、リピートユーザーともに同じキーワード
- ・上位3位のキーワードは、新規ユーザー、リピートユーザーともに2012年と比較して、セッションが10~20倍増加
- ・上位5位のキーワードは、新規ユーザー、リピートユーザーともに2012年と比較して、直帰率が3~18%増加

【考察】

新規ユーザーの利用キーワードでも「icrweb」や「icr」等のブランドワードでの流入が多く、サイトを認知している人が検索により流入している傾向が見られる。
4位の「臨床研究」や16位の「臨床研究 e-learning」等、ブランドワード以外の流入数を増やすことで、今後、新たなルートからのユーザー獲得が見込まれるため、これらのキーワードのテーマに見合ったページを拡充し、ページの見直し等を行って直帰率・離脱率を抑えながら、ユーザーの定着率を高めていくことも重要。

リピートユーザーでは、ブックマークからの流入とあわせ、初回に辿り着いた検索キーワードを使って、再度訪問するパターンも多く見られる。
また、ブランドワードで流入したリピートユーザーの直帰率が、2012年に比べてやや高くなっているが、リニューアル直後ということもあり、様子見て訪れたユーザーも多かったものと推測される。

■ 新規ユーザーの平均ページビューが多いキーワード

順位	キーワード	平均ページビュー		セッション	
		2013年	2012年	2013年	2012年
1	e-learning 看護 研究 倫理	113	-	1	-
2	臨床研究入門初級	96	-	1	-
3	http://www.icrweb.jp/icr	92	70.20	1	-
4	eラーニング 臨床研究入門	91	6	1	1
5	臨床研究に関する倫理指針 eラーニング	84	-	1	-
6	icrweab	72	-	2	-
7	icr臨床研究倫理	70	-	1	-
8	e-learning 臨床研究	68	-	1	-
9	治験 統計基礎	66	-	1	-
10	icr臨床研究入門 eラーニング	59	-	1	-
11	がんセンター 臨床研究 eラーニング	56	-	1	-
12	irc web 倫理	53	-	2	-
13	介入試験	53	-	1	-
14	irc臨床	52.33	-	3	-
15	icr 臨床研究入門	51.5	-	8	-
16	倫理イーラーニング	45	-	1	-
17	治験 e-learning	44	-	1	-
18	icrweb 倫理	43	-	1	-
19	web 無料 修了証発行	41	-	1	-
20	icrうえb	41	-	1	-

■ リポートユーザーの平均ページビューが多いキーワード

順位	キーワード	平均ページビュー		セッション	
		2013年	2012年	2013年	2012年
1	神戸大学 icrweb	90	-	2	-
2	icr臨床研究入門 eラーニング	69	-	1	-
3	icr初級コース修了証	68	-	1	-
4	web 無料 修了証発行	68	-	3	-
5	独立安全性モニタリング委員会とは 臨床研究	64	-	1	-
6	icr rinri	63	-	1	-
7	icr 臨床試験	62.5	-	2	-
8	icr臨床研究倫理	60	-	1	-
9	icrweb.jp/	59.75	-	4	-
10	臨床研究 事務局	54	-	1	-
11	icr	53.5	-	2	-
12	icr倫理	46	-	2	-
13	icr 倫理	42.75	120	4	1
14	がん 最低限の知識	41.71	-	7	-
15	icr臨床	41	-	22	-
16	irc臨床	40.25	-	4	-
17	icr 臨床研究入門講座	40	-	3	-
18	ixrweb	40	-	1	-
19	研究実施計画書 bmj	38	-	1	-
20	治験 研修会 福岡 臨床研究	37.57	-	7	-

【傾向】

- ・新規ユーザーで「icr」が絡むキーワードは20位中7ワード
- ・リポートユーザーで「icr」が絡むキーワードは20位中10ワード
- ・2012年との比較ができるは新規ユーザーのワードは「http://www.icrweb.jp/icr」「eラーニング 臨床研究入門」、リポートユーザーでは「icr 倫理」

【考察】

本データは平均ページビューが多いキーワードを記しているが、もうひとつの指標となるセッション数がそれぞれ少ないため、このデータから何かを導き出すことは難しい。
しかし、その中でも新規ユーザーの「icr 臨床研究入門」や、リポートユーザー「icr臨床」、「がん 最低限の知識」、「治験 研修会 福岡 臨床研究」などはセッション数、平均ページビューともに一定の値があるため、凡そ有望なキーワードだと考えられる。

また、新規ユーザーの「http://www.icrweb.jp/icr」やリポートユーザーの「icr 倫理」は、セッション数は少ないものの、2012年も平均ページビューが多く、こちらも可能性を秘めたキーワードになる可能性がある。

■ 新規ユーザーの平均滞在時間が長いキーワード

順位	キーワード	平均滞在時間		セッション	
		2013年	2012年	2013年	2012年
1	e-learning 看護 研究 倫理	3:47:59	-	1	-
2	icr臨床研究倫理	2:24:40	-	1	-
3	臨床研究に関する倫理指針 eラーニング	2:05:54	-	1	-
4	臨床研究入門初級	1:43:44	-	1	-
5	http://www.icrweb.jp/icr	1:31:05	00:35:41	1	5
6	厚生労働省 臨床研究 倫理指針 eラーニング	1:24:29	-	1	-
7	eラーニング 臨床研究入門	1:21:01	00:02:21	1	1
8	icr 臨床 入門	1:10:29	-	1	-
9	倫理イーラーニング	1:04:44	-	1	-
10	icr初級コース修了証	0:58:59	-	2	-
11	臨床試験 eラーニング	0:56:15	-	4	-
12	irc臨床	0:53:43	-	3	-
13	icr 臨床研究入門	0:50:58	-	8	-
14	icr 臨床試験 eラーニング	0:50:32	-	1	-
15	icrweab	0:49:05	-	2	-
16	e-learning 臨床研究	0:48:40	-	1	-
17	がんセンター 臨床研究 eラーニング	0:45:35	-	1	-
18	icr臨床研究入門 eラーニング	0:45:11	-	1	-
19	eラーニング 治験	0:44:25	-	1	-
20	icr倫理	0:41:15	-	1	-

■ リピートユーザーの平均滞在時間が長いキーワード

順位	キーワード	平均滞在時間		セッション	
		2013年	2012年	2013年	2012年
1	icr臨床研究倫理	1:54:32	-	1	-
2	icr初級コース修了証	1:53:41	-	1	-
3	神戸大学 icrweb	1:28:03	-	2	-
4	icr 臨床研究入門講座	1:19:28	-	3	-
5	icrweb.jp/	1:19:25	-	4	-
6	icr倫理	1:13:00	-	2	-
7	臨床治験eラーニング	1:10:21	-	2	-
8	icr 臨床試験	1:04:07	-	2	-
9	eラーニング icr	1:02:55	-	4	-
10	臨床試験 icr	0:56:19	-	3	-
11	http://www.icrweb.jp/login/confirm.php?data=wkmcwcrsb8g449/pimi	0:54:31	-	1	-
12	web 無料 修了証発行	0:52:40	-	3	-
13	独立安全性モニタリング委員会とは 臨床研究	0:49:57	-	1	-
14	臨床研究 事務局	0:48:43	-	1	-
15	http://www.icrweb.jp/login/confirm.php?data=roao2zrcyoabkgz/d01038	0:46:44	-	1	-
16	icr web eラーニング ユーザー登録	0:44:18	-	4	-
17	icr	0:43:58	-	2	-
18	icr臨床研究入門 eラーニング	0:42:23	-	1	-
19	治験 研修会 福岡 臨床研究	0:41:05	-	7	-
20	臨床研究学習	0:40:46	-	15	-

【傾向】

- ・新規ユーザーで「icr」が絡むキーワードは20位中8ワード
- ・リピートユーザーで「icr」が絡むキーワードは20位中10ワード
- ・2012年との比較ができるは新規ユーザーのワードは「http://www.icrweb.jp/icr」「eラーニング 臨床研究入門」、リピートユーザーでは該当ワードなし

【考察】

本データに関しても平均ページビュー同様、セッション数がそれぞれ少いため、このデータから何かを導き出すことは難しいが、新規ユーザーの「icr 臨床研究入門」やリピートユーザーの「臨床研究学習」、「治験 研修会 福岡 臨床研究」などはセッション数、平均滞在時間ともに一定の値があるため、凡そ有望なキーワードだと考えられる。

また、新規ユーザーの「http://www.icrweb.jp/icr」は、セッション数は少ないものの、2012年も平均滞在時間が長く、こちらも可能

性を秘めたキーワードになる可能性がある。

■ 新規ユーザーの平均PVが多いキーワードの平均滞在時間

順位	キーワード	平均ページビュー		平均滞在時間	
		2013年	2012年	2013年	2012年
1	e-learning 看護 研究 倫理	113	-	3:47:59	-
2	臨床研究入門初級	96	-	1:43:44	-
3	http://www.icrweb.jp/icr	92	70.20	1:31:05	00:35:41
4	eラーニング 臨床研究入門	91	6	1:21:01	00:02:21
5	臨床研究に関する倫理指針 eラーニング	84	-	2:05:54	-
6	icrweab	72	-	0:49:05	-
7	icr臨床研究倫理	70	-	2:24:40	-
8	e-learning 臨床研究	68	-	0:48:40	-
9	治験 統計基礎	66	-	0:21:30	-
10	icr臨床研究入門 eラーニング	59	-	0:45:11	-
11	がんセンター 臨床研究 eラーニング	56	-	0:45:35	-
12	irc web 倫理	53	-	0:38:19	-
13	介入試験	53	-	0:40:53	-
14	irc臨床	52.33	-	0:53:43	-
15	icr 臨床研究入門	51.5	-	0:50:58	-
16	倫理イーラーニング	45	-	1:04:44	-
17	治験 e-learning	44	-	0:34:23	-
18	icrweb 倫理	43	-	0:32:03	-
19	web 無料 修了証発行	41	-	0:36:50	-
20	いcrラえb	41	-	0:20:04	-

■ リピーターユーザーの平均PVが多いキーワードの平均滞在時間

順位	キーワード	平均ページビュー		平均滞在時間	
		2013年	2012年	2013年	2012年
1	神戸大学 icrweb	90	-	1:28:03	-
2	icr臨床研究入門 eラーニング	69	-	0:42:23	-
3	icr初級コース修了証	68	-	1:53:41	-
4	web 無料 修了証発行	68	-	0:52:40	-
5	独立安全性モニタリング委員会とは 臨床研究	64	-	0:49:57	-
6	icr rinri	63	-	0:38:51	-
7	icr 臨床試験	62.5	-	1:04:07	-
8	icr臨床研究倫理	60	-	1:54:32	-
9	icrweb.jp/	59.75	-	1:19:25	-
10	臨床研究 事務局	54	-	0:48:43	-
11	いcr	53.5	-	0:43:58	-
12	icr倫理	46	-	1:13:00	-
13	icr 倫理	42.75	120	0:30:58	00:47:20
14	がん 最低限の知識	41.71	-	0:17:06	-
15	icr臨床	41	-	0:32:56	-
16	irc臨床	40.25	-	0:38:29	-
17	icr 臨床研究入門講座	40	-	1:19:28	-
18	ixrweb	40	-	0:04:07	-
19	研究実施計画書 bmj	38	-	0:15:59	-
20	治験 研修会 福岡 臨床研究	37.57	-	0:41:05	-

【傾向】

- ・新規ユーザーで「icr」が絡むキーワードは20位中7ワード
- ・リピーターユーザーで「icr」が絡むキーワードは20位中10ワード
- ・新規ユーザーで「倫理」が絡むキーワードは20位中6ワード
- ・リピーターユーザーで「icr」が絡むキーワードは20位中3ワード

【考察】

概ね30分以上の滞在時間は、講義を受講をしている可能性が高い。また平均ページビューが多く、平均滞在時間が長いキーワードは、ユーザーニーズとサイトのコンテンツがうまく合致したキーワードと推測できる。

新規ユーザーの利用キーワードでは「icrweb」や「icr」等のブランドワード以外に、「倫理」絡みのキーワードが非常に多く、滞在時間も他のキーワードより長い傾向があるため、新規ユーザーを呼び込むための有望なキーワードとして育てていくべき。

平均ページ数が少なく、平均滞在時間が長いキーワードは、求めている情報にたどりつけていない可能性もあるので、離脱率や閲覧開始ページからのページ遷移を調査し、ネックとなっているページを洗い出す必要がある。

ICRwebサイト評価

ヒューリスティック調査レポート

作成日	2013年4月1日(月)		
対象URL	http://www.icrweb.jp		
調査期間	2013年4月1日(月)調査	対象日数	
比較期間	2010年2月28日(日)調査	対象日数	

■ 調査概要	…2	■ 個別ページ分析	
		①ヘッダー・フッター・サイドナビ	… 9
■ サマリー	…3	②トップページ	… 10
		③講座一覧	… 10
■ サイト全体の総合分析		④コース概要	… 11
1. 視認性	…4	⑤講義概要	… 11
2. 操作性	…6	⑥講義	… 12
3. 情報伝達	…7	⑦サイトご利用方法	… 12
4. 機能性	…8	⑧章末テスト	… 13
		⑨ICRwebのご紹介	… 13
		⑩用語集	… 14
		⑪よくあるご質問	… 14
		⑫お知らせ	… 15
		⑬ユーザー登録	… 15
		⑭アンケート	… 16
		⑮規制ガイドライン・国内外の動向	… 16
		⑯リンク集	… 17
		⑰お問い合わせ	… 17
		⑱受講履歴確認	… 18

■調査目的

利用者視点で現状サイトを利用した場合、どのような問題があるかを明らかにし、運営者が気づかなかった問題や、利用者のストレスポイントを把握します。

■調査対象

http://www.icrweb.jp/以下の全ページ。現時点で標準的なスペックのPCと通信環境、シェアの一番多いOSとブラウザを用いて調査しています。尚、スマートフォン、タブレット等での閲覧については、今回の調査対象としていません。

【調査環境】 デスクトップパソコン(CPU: Intel Core i3 2.93GHz/メモリ: 4GB/OS: Windows7 Home/ブラウザ: Internet Explorer 9)
モニター(サイズ: 22インチワイド/解像度: 1920×1080) 通信環境(光回線200Mbps)

■調査方法

ユーザビリティの第一人者であるヤコブ・ニールセンの「ニールセンのユーザビリティ10原則」(http://www.useit.com/papers/heuristic/heuristic_list.html)を、ユーザビリティに長けた専門家1名が、WEBサイトの特性に合わせて具体化し、既知の経験に照らし合わせて評価項目を作成。

視認性、操作性、情報伝達、機能性という4つの視点から対象サイトを利用し、この評価項目に基づいてサイト全体の評価を行っています。また、スタイルが違う17ページとヘッダー、サイドナビ、フッター部分について、個別に所見を記載しています。その他、2010年2月に行った前回調査との比較も記載しています。

【調査分類】

1. 視認性	…視覚的要素であるデザイン、レイアウト、テキスト、画像等の見やすさ、判りやすさを評価
2. 操作性	…サイト構造をはじめ、リンクやナビゲーションメニュー、設置機能等の使いやすさを評価
3. 情報伝達	…情報が正確に伝わっているか、最低限ユーザーに伝えるべき情報が記述されているかを評価
4. 機能性	…ユーザの利便性を高めるために設けられたサイトの各種機能について、その有効性や効率性を評価

■評価方法

上記4つの調査分類の評価項目を0～2点で採点。

ただし、評価項目によってユーザビリティの重要度も変わるため、評価項目ごとに1～3ポイントのウェイトをつけ、ウェイト×採点の合計で点数をつけています。また、調査分類ごとに調査項目の合計点を集計し、満点時の点数を100%とした「対応度」を評価基準としています。

【評価項目のウェイト(ポイント)】

3…必ず対応すべき
2…対応すべき
1…対応していた方がよい

【採点(点)】

2…対応できている
1…部分的に対応/対応しているが不満
0…対応できていない

【評価項目得点の計算式】

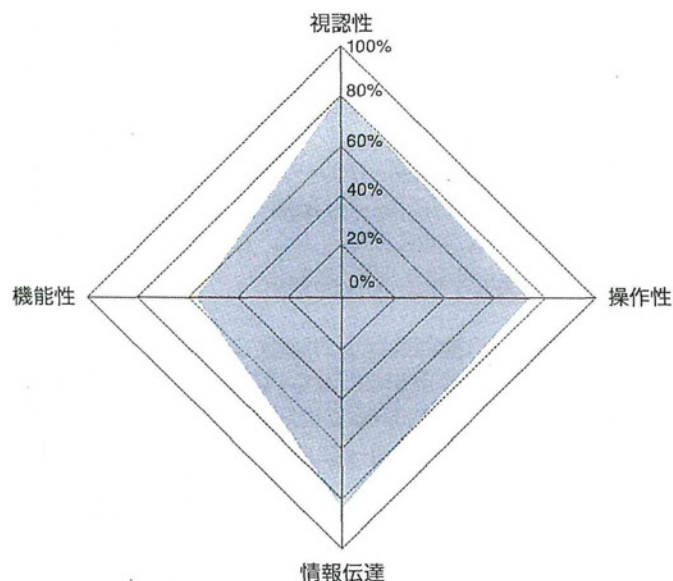
得点(点) = 評価項目のウェイト(3,2,1) × 採点(2,1,0)

【対応度の計算式】

対応度(%) = 評価項目得点の合計 ÷ 評価項目得点満点時の得点

総合評価

採点	251 / 332点中 (前回:229 / 346点中)	対応度	76% (前回:66%)
----	-------------------------------------	-----	---------------------



視認性、操作性、情報伝達、機能性ともに前回調査で挙げた課題が改善されており、使い勝手が大幅に向上した。

eラーニングシステムが変わったことによって、講義やテスト時の操作ストレスが大幅に減った反面、ローカルナビゲーションが実装できないなどの課題もあるが、講座一覧の履修状況の表示やボタン類、サイト全体の文字の大きさや行間設定等も含め、検討・改善していくことで、さらに使い勝手の良いサイトになると思われる。

また、今後はリピーターの利用促進に重点をおき、更新頻度を上げながら、時間の長い動画コンテンツの見せ方や、SNSプラグインの利用、検索機能の実装も検討していきたい。

■ 視認性(34項目)

採点	107 / 134点中 (前回:100 / 134点中)	対応度	80% (前回:75%)
----	-------------------------------------	-----	---------------------

前回調査時の課題であった、見出しや箇条書き、挿絵等の挿入については、改善が見られる。文字の大きさや行間についてはもう少しゆとりのある設定であっても良い。

サイトデザインは一貫性がたものの、黄色やグレーが多く使われており、全体的にややぼけた雰囲気があるので、ページ内のコンテンツにはコントラストの強い画像を使用したり、テキストタイトルの文字を太く、色を濃くしたりすることで、シャープな印象をもたせることができる。

■ 操作性(14項目)

採点	49 / 66点中 (前回:33 / 66点中)	対応度	74% (前回:50%)
----	---------------------------------	-----	---------------------

前回調査で挙げたナビゲーションに関わる課題はほぼクリアされている。サイドバーへのローカルナビゲーションについては、システムとの兼ね合いにより実装できないため、下層ページでの回遊ができるように「関連する講義」等の一覧を表示するなど、代替案を考えたい。

また、講座一覧ページに表示されるアンケートや章末テスト等のボタンが小さく使い勝手がよくないため、表示場所を含めて再考する必要がある。

■ 情報伝達(23項目)

採点	70 / 84点中 (前回:67 / 84点中)	対応度	83% (前回:80%)
----	---------------------------------	-----	---------------------

膨大なコンテンツがうまく整理され、目的の講義を受講しやすくなった。また、ユーザーの属性(職種)や役割といった視点で講義をグループ化した点も、受講者側からすると講義に入っていくやすい。eラーニングシステムが刷新され、格段に使いやすくなったほか、利用方法等の丁寧な説明が随所にあるため、ユーザーが迷うことはほぼないと思われる。

今後は、長いビデオ講義を、どのようにして飽きずに受講してもらうかが課題である。

■ 機能性(19項目)

採点	28 / 48点中 (前回:29 / 62点中)	対応度	58% (前回:47%)
----	---------------------------------	-----	---------------------

前回調査時の課題であった、ポップアップブロックやJavascriptエラーの問題はすべて解決し、致命的な機能障害はなくなった。サイト内の検索機能がなくなってしまったのは残念。動画による講義が主となるため、講義ごとにタグづけをして、検索に表示させるとよい。フォームについては確認画面があるものがないものがあるが、確認画面はすべてに欲しい。

今後はFacebookやtwitterのプラグインを利用して、SNSと連携していくことが重要となる。

■視認性(1-30/34項目)

ウエイト(1~3) × 採点(0~2) = 計

分類	No	評価項目	ウエイト	今回調査		前回調査	
				採点	計	採点	計
デザイン	1	インターフェースデザイン(色やスタイル)に一貫性がある	1	2	2	1	1
	2	無意味な装飾(アニメーション等)を使用していない	1	2	2	2	2
	3	ウィンドウサイズを変えてもデザインが大きく崩れない	2	2	4	2	4
	4	フォントサイズを変えてもデザインが大きく崩れない	2	2	4	2	4
	5	サイト全体の色のコントラストが適切である(低すぎない)	1	1	1	2	2
レイアウト	6	ページタイトルの位置等、各ページのレイアウトが一貫している	3	2	6	2	6
	7	適度なマージンが規則的に取られている	1	2	2	1	1
	8	フレームを使用していない	1	2	2	2	2
	9	一般的に読まれる方向(左上から右下)に情報を配置している	2	2	4	2	4
	10	シェアの高いブラウザならどのブラウザでも支障なく同じように閲覧ができる(IE8~9、Firefox、Chrome、Safari)	1	2	2	2	2
	11	800×600(SVGA)モニターでも閲覧可能である	2	1	2	2	4
	12	画面を横スクロールする必要が無い	3	2	6	2	6
フォント	13	機種依存文字は使用していない	1	2	2	2	2
	14	フォントの種類、サイズを固定していない	3	0	0	0	0
	15	使用しているフォントに一貫性がある	2	2	4	2	4
テキスト	16	文字色と背景色とのコントラストが十分にある	3	2	6	2	6
	17	文字の装飾に下線を使用していない	3	2	6	2	6
	18	リンクしているテキストには全て下線がついている	2	0	0	0	0
	19	未読リンクと既読リンクではっきり色を分けている	3	0	0	1	3
	20	半角カタカナ・全角英数字を使用していない	1	2	2	2	2
	21	行間を適度にあげている	2	1	2	0	0
	22	誤字脱字が無い	3	2	6	2	6
	23	目的を阻害する過度の効果(激しく点滅、動く等)がない	2	2	4	2	4
文章	24	見出しがついている	2	2	4	1	2
	25	見出しに沿って階層化されている	2	2	4	1	2
	26	適度に段落に分けてある	3	1	3	1	3
	27	箇条書きや図・イラスト等でアクセントがつけてある	2	1	2	0	0
画像	28	重要な部分はBoldや色付け等で強調されている	2	2	4	1	2
	29	欠落した画像がない	3	2	6	2	6
	30	画像にしたテキストは見やすく、潰れていない	3	2	6	1	3

■ 視認性(31-34/34項目)

ウエイト(1~3) × 採点(0~2) = 計

分類	No	評価項目	ウエイト	今回調査		前回調査	
				採点	計	採点	計
画像	31	アイコンは直感的に意味のわかるもので、小さすぎていない	1	2	2	2	2
	32	クリックできる画像とできない画像との違いがわかる	2	2	4	2	4
	33	ALT属性が設定されている	1	1	1	2	2
	34	Width属性・Height属性を設定している	1	2	2	2	2
合計			-	-	107	-	100

採点	107 / 134点中 (前回:100 / 134点中)	対応度	80% (前回:75%)
----	-------------------------------------	-----	---------------------

■操作性(1-14/14項目)

ウエイト(1~3) × 採点(0~2) = 計

分類	No	評価項目	ウエイト	今回調査		前回調査	
				採点	計	採点	計
ナビゲーション	1	全てのページにトップページへのリンクがある	3	2	6	2	6
	2	トップページ以外のページからもサイト内の大項目へ移動できる	3	2	6	1	3
	3	サイト全体の構成が把握しやすい	2	2	4	1	2
	4	リンク切れや工事中のページがない	3	1	3	0	0
	5	サイトの目的ページ(資料請求・お問合せ等)へのリンクがわかりやすい場所に配置されている	3	2	6	1	3
	6	縦に長いページの場合、ページ最上部に戻れるリンクを配置している	2	2	4	2	4
	7	サイト内のどこのページを覗いているのか明瞭である(パンくずリスト等)	3	2	6	0	0
	8	サイトマップが用意されている	2	0	0	2	4
	9	ローカルナビゲーションが用意されており、下位階層の行き来が可能である	3	0	0	0	0
	10	会員向けページへの入り口が分けられている	1	0	0	1	1
	11	情報量の多いコンテンツは、ページを分けたり、ページ内リンクを設置している	2	1	2	1	2
	12	ユーザーの意思に関わらず勝手に新しいウィンドウが開かない	3	2	6	2	6
	13	ポップアップウィンドウは極力使用していない	2	2	4	0	0
	14	マウスを使わない操作も可能である	1	2	2	2	2
合計			-	-	49	-	33

採点	49 / 66点中 (前回:33 / 66点中)	対応度	74% (前回:50%)
----	---------------------------------	-----	---------------------

■ 情報伝達(1-23/23項目)

ウエイト(1~3) × 採点(0~2) = 計

分類	No	評価項目	ウエイト	今回調査		前回調査	
				採点	計	採点	計
インフォメーション	1	トップページに明確なサイトのロゴ、名称等がある	3	2	6	2	6
	2	トップページにサイトの趣旨が明示されている	3	2	6	2	6
	3	情報群のまとまりが適切である	2	2	4	2	4
	4	使用されている言葉がわかりやすい	2	2	4	2	4
	5	英文字だけのリンクや見出しラベルは使用していない	1	2	2	2	2
	6	専門用語のための注釈や用語集が用意されている	2	2	4	2	4
	7	管理者への連絡情報が掲載されている	3	2	6	2	6
	8	ダウンロードコンテンツ(PDFや動画)には、ファイル形式やファイルサイズが記載されている	2	0	0	1	2
	9	ダウンロードコンテンツ(PDFや動画)には、サムネールやコンテンツに対する説明が記載されている	2	1	2	1	2
	10	リンク先がデータや外部サイトの場合、アイコンや説明が記述されている	1	0	0	2	2
	11	新しいウィンドウを開く場合、アイコンや説明が記述されている	1	0	0	1	1
	12	ユーザー登録や課金されるページへのリンクにはあらかじめ説明が記述されている	1	2	2	0	0
	13	内容に沿ったページタイトルがつけられている	2	2	4	2	4
	14	情報の優先順位がデザインに反映している	2	2	4	1	2
	15	ウェブサイトの操作ガイドやFAQが用意されている	2	2	4	2	4
	16	利用可能なブラウザバージョン・解像度制限等が明示されている	2	2	4	2	4
	17	個人情報保護(プライバシー)ポリシーが明示されている	2	2	4	2	4
	18	著作権(コピーライト)ポリシーが明示されている	1	2	2	0	0
	19	サイト運営者に関する情報が明示されている	2	2	4	2	4
	20	更新情報を確認できるページがある	1	2	2	2	2
	21	必要なプラグインの説明やダウンロード先が記述されている	3	2	6	1	3
	22	Notfound(ページが見つからない)のページを用意している	1	0	0	0	0
	23	エラーメッセージは分かりやすく、丁寧な言葉遣いがされている	1	0	0	1	1
合計			-	-	70	-	67

採点	70 / 84点中 (前回:67 / 84点中)	対応度	83% (前回:80%)
----	---------------------------------	-----	---------------------

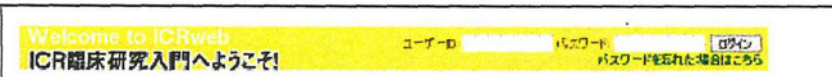

■機能性(1-19/19項目)

ウエイト(1~3) × 採点(0~2) = 計

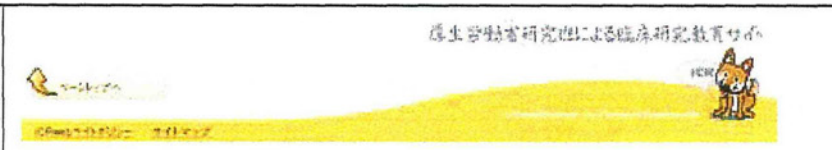
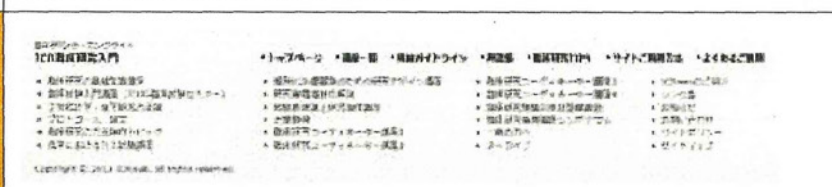
分類	No	評価項目	ウエイト	今回調査		前回調査	
				採点	計	採点	計
プラグイン	1	2種以上の再生プレーヤーの動画ファイルが用意されている	2	2	4	0	0
	2	利用回線に応じた2つ以上のストリーミングデータが用意してある	1	0	0	0	0
	3	プラグインを使用できないユーザーのための代替コンテンツを用意してある	3	1	3	0	0
サイト内検索	4	サイト内検索が設置されている	1	0	0	2	2
	5	検索結果には同じページがいくつも出ない	2	-	-	2	4
	6	検索窓が十分に長い	1	-	-	1	1
	7	検索結果画面でキーワードが強調されている	2	-	-	0	0
	8	検索する際の操作・入力方法の説明が記述されている	2	-	-	2	4
印刷	9	ブラウザのメニューからではなく、ページ内に印刷ボタン等を用意している	1	0	0	0	0
	10	必要な情報がきちんと印刷できる(切れたりしていない)	2	2	4	2	4
フォントサイズ	11	ブラウザのメニューからではなく、ページ内にフォントサイズ変更ボタン等を用意している	1	0	0	0	0
フォーム	12	記入必須項目がきちんと明示されている	3	2	6	2	6
	13	入力項目数が適度である	2	2	4	2	4
	14	入力項目の説明が入力欄の前にある	1	2	2	0	0
	15	入力確認画面が用意されている	3	1	3	0	0
	16	labelタグ等により、フォーム部品と項目名が関連付けられている	1	0	0	0	0
	17	整形された文字列の入力を求めている	1	2	2	2	2
	18	指定外の文字が使用された場合には、エラーとしてユーザに再入力を求めず、システム側で自動変換している	1	0	0	0	0
	19	不要な文字(スペース等)が挿入されている場合、エラーとしてユーザに再入力を求めず、システム側で該当文字を削除している	1	0	0	2	2
合計			-	-	28	-	29

採点	28 / 48点中 (前回:29 / 62点中)	対応度	58% (前回:47%)
----	---------------------------------	-----	---------------------

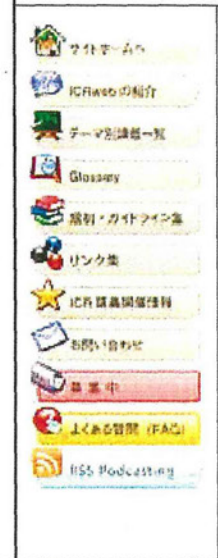
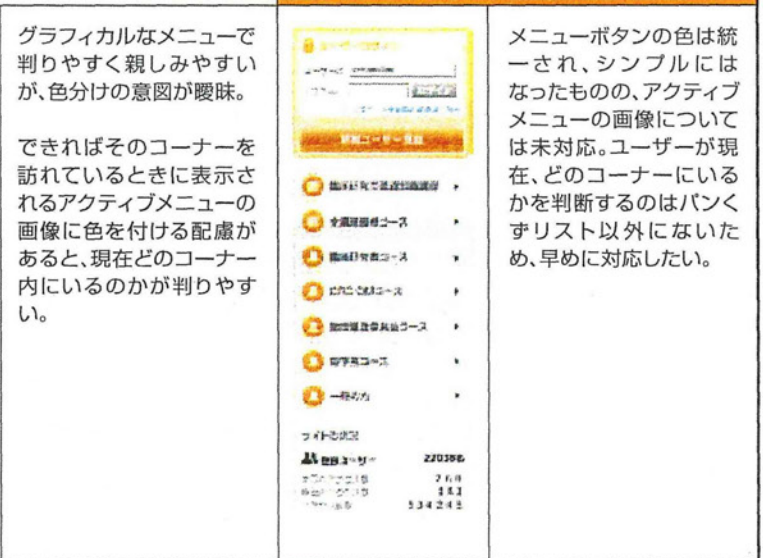
■ ヘッダー

<p>旧サイトの課題</p>	 <p>階層化されているコーナーもあるため、下階層へのナビゲーションが欲しい。また、ページ内で一番目線が行く位置であるため、誘導や告知等、戦略上重要なアピールポイントとして活用したい。</p>
<p>新サイトでの対応</p>	 <p>グローバルナビゲーションやマウスオーバーで下階層メニューが表示されるなど、サイト内の移動が飛躍的にしやすくなった。また、「ICRwebのご紹介」等、サブ的コンテンツのメニューもあり、サイト全体のコンテンツも把握しやすい。検索機能がなくなってしまったが、今後は更にコンテンツが増えていくため、ヘッダーもしくはサイドナビに是非設置してほしい。</p>

■ フッター

<p>旧サイトの課題</p>	 <p>サイト内の主要コーナーへのテキストメニューを配置し、サイトの内の回遊性を高めるために活用したい。メニューの設置により、サイト内ですべてのページにリンクを張り巡らすことになり、SEO的な面からも有効である。</p>
<p>新サイトでの対応</p>	 <p>ページが長い場合でも、ヘッダ部分まで戻る必要がないため、他のページへの移動が容易になった。またサイト全体のコンテンツが把握しやすくなったため、より多くのページ閲覧も期待できる。</p>

■ サイドナビ

旧サイトの課題	新サイトでの対応
 <p>グラフィカルなメニューで判りやすく親しみやすいが、色分けの意図が曖昧。</p> <p>できればそのコーナーを訪れているときに表示されるアクティブメニューの画像に色を付ける配慮があると、現在どのコーナー内にいるのかが判りやすい。</p>	 <p>メニューボタンの色は統一され、シンプルにはなったものの、アクティブメニューの画像については未対応。ユーザーが現在、どのコーナーにいるかを判断するのはパンくずリスト以外にないため、早めに対応したい。</p>

【新サイト考察】

■ ヘッダ

グローバルナビゲーション「講座一覧」をマウスオーバーして展開するメニューが、ページタイトルの長さにより2行になっている。メニュー自体の横幅を広げるか、文字数を減らす等の工夫がほしい。また、最上部のテキスト(臨床研究eラーニングサイト「ICR臨床研究入門」は~の部分)は、h1タグで囲んだSEO用のテキストになるため、ページごとにキーワードを選定し、異なる文章に変更する必要がある。

■ フッタ

テキストメニューに一部リンク切れがあり。ページがない、もしくは工事中なのであれば、表示しないほうがよい。また各コースへのナビゲーションもほしいところ。

■ サイドナビ

システムの関係により実装できないが、下層ページ用のローカルナビゲーションを設置したいところ。ローカルナビゲーションを設置することにより、現階層でのページ構成が把握しやすくなり、同階層ページ間の移動が容易になるほか、ページビューの増加やSEO効果等も見込める。

■ トップページ

旧サイトの課題	新サイトでの対応
<p>大きな目のキャッチコピー画像やイメージ画像等、訪問者がどんなサイトなのかを瞬時に判断できる要素を配置したい。</p>	<p>キャッチコピーと実際の講義画面をフェード切り替え自動表示。一見してサイトの趣旨が判断できるようになった。</p>
<p>eラーニング各コースの説明はマウスをアイコンにのせたときではなく、あらかじめ表示させておく。</p>	<p>各コース毎に説明ページを設置し、コース用のボタンをサイドバーに設置。より詳細な情報提供が可能になった。</p>
<p>「What's New」記事タイトルがグレーの背景で白文字のため目立たず、日付が右側にあるため、更新されているかどうか判りづらい。</p>	<p>お知らせ欄のデザインを一新。記事タイトルにリンクをつけ、日付は左側に配置したため、サイトの更新状況が把握しやすくなった。</p>

【新サイト考察】

SEOの観点からは有効であるが、ICR臨床研究入門の説明が少々長い印象。既読ユーザーはこの部分を読まない。また、その下のコース案内はサイドナビに同じものがあるため、なくてもよいと思われる。この2箇所はサイト内でも一番アピールできるスペースなので、今後の戦略で重要となるコンテンツやお知らせ等の更新情報を掲載するスペースとして有効活用したい。現在は新規ユーザー向けの構成となっているが、今後はリピーターの利用を促進するための施策を考えていく必要がある。



■ 講座一覧

旧サイトの課題	新サイトでの対応
<p>ページタイトルが小さく、現在のページを認識しづらい。</p>	<p>タイトル文字が大きくなり、サイト内で統一された位置に表記されているため、わかりやすくなった。</p>
<p>冒頭の説明文章は、タイトルを入れたり簡条書きに。文章にする場合は、行間を大きくすると良い。</p>	<p>文書の行間はとられているが、もう少しあってもよい。また、文字ももう少し大きく、長い文章の場合は段落を分けたい。</p>
<p>各講義の簡単な説明やページ数、所要時間の表記がほしい。</p>	<p>講義の簡単な説明やページ数、PDFプラグインについては、リンク先の講義ページにて記載されており、学習しやすくなった。</p>

【新サイト考察】

講座の説明文の文字が小さく読みづらい。もう少し文字を大きくし、行間と適度な段落変更があると良い。また全体的に文字が多い印象なので、講義のキャプチャ画面等を入れて、アクセントをつけたい。現在は講座名をクリックしても何も起こらず、紛らわしいので、講義一覧表を予め非表示にし、クリックで表示させる等の工夫が欲しい。講義一覧表内の履修状況やボタン類の表示については、未登録ユーザーには何の意味もなさないため、表示場所させる場所については、検討の余地あり。

■ コース概要

	
<p>旧サイトの課題</p>	<p>新サイトでの対応</p>
<p>もう少し細かいセグメント分けをするか、初級編や中級編のシラバスのように講義の中身がわかるような説明があると利用しやすい。</p>	<p>講座ごとに概要説明があり、さらに講義ごとに別ページでの説明があるため、情報は十分にえることができる。</p>
<p>職種やレベルによって講義を分別する等、視点を変えた様々な講義一覧や、キーワード検索ができると非常に便利。</p>	<p>職種によるコースを設けており、初めてでも受講をしやすい。また難易度や他のユーザーのコメントが講義ページで紹介されているため、自身のレベルに合わせて受講が可能になった。</p>

【新サイト考察】

講座の説明文の文字が小さく読みづらい。もう少し文字を大きくし、行間と適度な段落変更があると良い。また全体的に文字が多い印象なので、講義のキャプチャ画面等を入れて、アクセントをつけたい。具体的な対象者や、コースを完了するまでの凡その所要時間情報があると良い。

■ 講義概要





The screenshot shows a user interface for a course titled 'ICR 臨床研究入門'. On the left, there is a vertical menu listing various course levels: '臨床研究の基礎知識講座', '全講座総論コース', '臨床研究者コース', 'CRC-CCMコース', '倫理審査委員会コース', '読者コース', and '一般の月'. The main content area displays '1. 臨床研究概論' with a video player and accompanying text. A sidebar on the right provides site statistics, including '登録ユーザー 22038名', '講座のアクティビティ 297', '講座のアクティビティ 181', and '講座のアクティビティ 53426名'. There are also buttons for '新規ユーザー登録' and '講座概要'.

【新サイト考察】

講師名、収録日、公開日の記載があると良い。また、講義の説明が少ないので、チャプターの記載があると良い。受講者コメントについてはもう少し行間をとると読みやすい。ユーザー評価、受講者コメントは、なければ非表示にしておくべき。今後は講師を紹介するページや、講師別に「クラス」という形で講義を組むのも面白い。

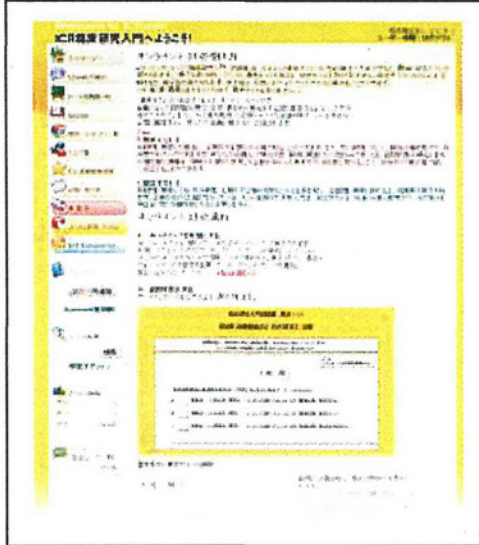

■ 講義

	
<p>旧サイトの課題</p>	<p>新サイトでの対応</p>
<p>パワーポイント下の説明文を含めて、全体をHTMLページ化する。</p>	<p>システムの変更により、全講義が同じ体裁、使い方で見られるようになり、講義に集中できるようになった。</p>

【新サイト考察】

システムが変わり大変使いやすくなったが、「ノート」については、文字が小さく視認性が劣る。音声がない講義については「スライドに合わせてノートの解説を読んで履修」の記載はあるが、PCの故障で音が出ていないと思われるため「音声はありません」等の記載がほしい。「履修に際しての注意事項」は文字が詰まっている印象なので行間がほしい。また「履修後、アンケートにご回答ください」の表記はもう少し目立たせるべき。

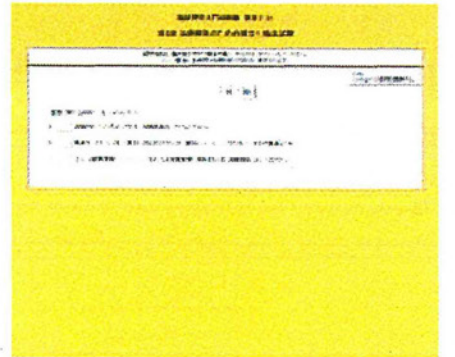
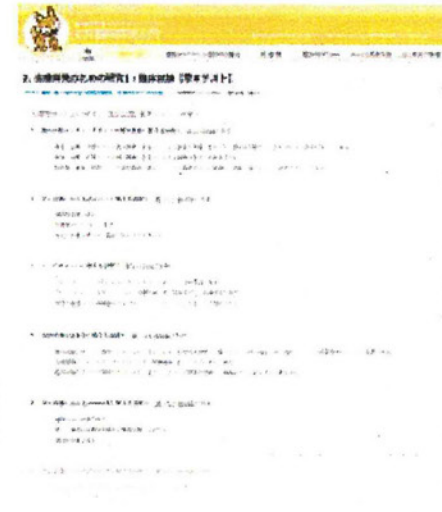
■ サイトご利用方法

	
<p>旧サイトの課題</p>	<p>新サイトでの対応</p>
<p>タイトルと文章とのメリハリ(大きさや色)をつけると読みやすくなる。文章エリアの背景に色を入れる場合は、ボックス内に余白をとると良い。</p>	<p>タイトルと文章との区別が付き、読みやすくなった。</p>
<p>「Tips」という項目名と、ポップアップブロックの説明が記載されたPDFのリンク文字は違う色にすべき。</p>	<p>通常の文字とリンクの文字色は明確に、異なる色で設定されており、迷うことはなくなった。</p>

【新サイト考察】

リストでの記載や、実際にサイトで使用しているアイコンを説明文中に入れており、わかり易くなった。タイトルの太文字の色は、背景がグレーのため、もう少しコントラストがほしいところ。また、説明文と注意書きで、文字の大きさにメリハリをつけたり、項目と項目の間に余白を取ると読みやすくなる。



■章末テスト

	
旧サイトの課題	新サイトでの対応
回答を間違った場合、修正できない	全問が一覧で表示され、回答の修正や一時保存もできるようになったため、使い勝手が大幅に向上した。

【新サイト考察】

一問ずつ回答していく前回の形式に比べ、一覧となったために見直しがしやすく、回答の修正や一時保存もできるため、使い勝手もよくなった。テストの履歴が確認できたり、再テストができる点もよい。ボタン類が小さくクリックしづらいため、もう少し大きくしたい。

■ICRwebの紹介

	
旧サイトの課題	新サイトでの対応
パワーポイントを画像化したページを、HTMLページとして再作成した方がよい。	HTMLページとして作成され、内容も整理されたため、多くの情報を効率的に伝えられるようになった。

【新サイト考察】

タブでの表示切替はページ遷移するストレスがなく使い勝手がよい。「ICRwebとは？」は文章が長いので、話のまとまり毎に余白をとりたい。また説明文中にリンクがあるが、PDFへのリンクや外部リンクの場合は、リンク先が何であるかを示すアイコンがあると良い。「ご利用施設紹介」「運営スタッフ」の項目タイトルは、黒太字にする等のメリハリがほしい。